

# がくどうほいくふなばし

No. 11 市連協だより  
船橋市学童保育連絡協議会  
(Tel/Fax) 047-433-9266

2002.4.26(金)発行  
(住所) 船橋市西船2-2-21

(ホームページ) [homepage2.nifty.com/fghrk/](http://homepage2.nifty.com/fghrk/)

## この間の運動で大きく前進

### 「1～3年生の待機児は出さない」

### 福祉サービス部長が回答



市連協は4月3日、秘書課に今回の入所不許可問題で市長と懇談したいと申し入れました。その後市から「市長は年度はじめてで日程が取れないため、福祉サービス部長と協議してほしい」と回答がありました。懇談は4月26日に約1時間30分行われ、市連協が4名、八栄小の保護者1名が参加しました。

はじめに部長から、要望事項について以下の回答がありました。

1～3年生については、待機児を出さないようにしたい。これは、市長も含めて協議した結果、ルームの定員を超えて受け入れることを決めたものである。5月から入所できるよう内定通知を出した。そのため、児童ホームでの緊急的な受け入れ

はなくなった。

6月以降も待機児については同様の取り扱いをする。夏休み枠も維持していく。

ルームの増設など今後の対策については、現在研究中である。

民間学童への補助金は考えていない。

4年生の入所に関しては今までどおり。

## 抜本的な対策や4年生の受け入れが今後の課題

これに対して市連協からは、「待機児を出さないためにルームで受け入れを決めたことは評価したい。ただ今後入所希望が増えることが予想される。特に今年度定員を超えた8ルームに関してはもっと希望者が増えるのではないかと。対策がいつ頃明確になるのか回答してほしい。」と述べました。

しかし市は、「時期はわからない。対策

もまだ発表できない」という回答に終始しました。市連協では「父母や指導員に相談しいっしょに考えるなど、柔軟に対応してほしい」と述べましたが、市は「提案は聞く」との回答に留まりました。

また4年生の入所でも、「定員を超えたルームは夏休み枠も受け入れできない」という回答のままでした。

今回入所できることになった八栄小の

保護者は、「入所を断られ困っていた。児童ホーム受入れも問題があったが、5月からルームに入所できてほんとうによかった。子どもも喜んでいる。ただ八栄小は子どもが増えており、増設が必要だと思う。早く対策をたて、来年度はこんなことがないようにしてほしい。今後は保護者同士のつながりを深めたい」と語ってくれました。

今回の入所不許可問題について、市連協で要望書提出や懇談を行い、八栄の保護者が福祉局長と懇談を行うなど取り組みがありました。また3月議会でこの問題が取

上げられ、市民団体からも改善要望が出されました。これらの運動の結果、1～3年生の入所に関して前進したものです。

### ～この間の経過～

市の方針変更で1～3年生31人が入所できず(6年生までも含め66人)

3月13日 緊急申し入れ

その後、市は、児童ホーム受入れを表明

4月3日 市長への懇談申し入れ

4月26日 部長と懇談し、「待機児を出さない」(従前の市の方針に戻す)と回答

市連協では、今回の入所不許可問題が船橋市の学童保育行政の根幹に関わる問題であると考え、4月3日に秘書課を通じて、藤代市長との懇談をお願いしました。

### 4月3日付け 藤代市長へ懇談を依頼した事項

- [1] 今回入所不許可が出た8ルームは、その学校の在籍児童数に比べ、ルームの定員が少ないルームです。今回の事態は、想定できたのではないのでしょうか。父母の要望を率直に受け止めてください。具体的には、  
定員を超えない方針を変え、昨年度同様、定員の120%まで受け入れて下さい。  
8ルームを対象に、児童ホームに放課後ルームを開設してください。  
保護者が希望する場合には、近隣のルームへの通所を許可してください。
- [2] 今後入所希望が更に増え、数百人の待機児童が想定されます。長期的な展望に立って、希望者全員がルームに入れるような体制を確立してください。そのため、  
2000年12月議会で採択された陳情「大規模ルームは増設して適正規模に」を、早急に具体化して下さい。特に定員を超えた8ルームは、早急に対応を。  
知事から第2種社会福祉事業の認定を受けた「なかよしクラブ」等民間の学童保育に、補助金が受けられるようにして下さい。
- [3] 4年生以上も35人が入所不許可となりました。昨年12月の厚生労働省通知「4年生以上の児童も積極的に受け入れるよう配慮されたい」に即し、条例改正や施設の増設を行い、4年生以上の児童も入所できるようにして下さい。
- [4] 父母からは、「保育園や小学校のように、父母参加の行事をやってほしい」という声が聞かれます。父母の声を積極的に取り入れる機会を設定し、親子で参加できるルームの行事を開催して下さい。

## < 解説 > 各ルームの入所枠(定員)について

右の図をご覧ください。各ルームの入所ワク(各学校の1~3年生の児童100人あたり何人ルームに入所できるのか)を示したものです。

船橋市の平均は、約21人です。今回定員を超えた8ルームの平均は、約14人で市の平均の2/3に過ぎません。

今回1~3年生で10人、全体で15人、定員を超えて申し込みのあった八栄小は、約12人。もし市の平均の定員が確保されていたら、八栄(現在定員50人)は、87人の定員となり、希望者全員が十分入所できます。

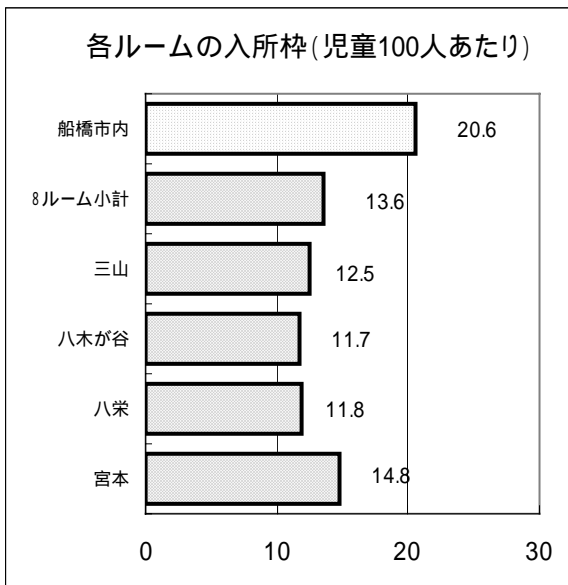
これらからも、早急に増設することが必要ではないでしょうか。

# ほのぼの保育報告

給食にでたピワの種を、「これ、めーでるかなー?!」と、大切そうにちり紙に包んで持ち帰ってきた1年生の女の子。「うめてみよう!」とプランターに4粒うめて「びわ」と書いた札を差しました。すると1週間ほどで芽を出し、やがて葉をつけたので、みんなびっくり!

用務員さんが「ここに植えるといいよ」と言うてくださったので、10cmになった頃、「実がいっぱいになるといいね!」プランターから引越しをしました。

何日かたって、男の子がスイカの種を持ち帰りました。「うめてみよか?」、半信半疑で埋めましたが、これまた見事に芽を出しました。それだけにとどまらず、双葉となりツルが伸び黄色のかわいい花をポンポン咲かせた



### 入所不許可が出たルーム

宮本小、八栄小、八木が谷小、三山小、法典小、古和釜小、中野木小、飯山満小

のです。

これに気をよくしたこの男の子、うれしそうに小さい黒い種を握りしめ帰ってきました。あれから一ヶ月、プランターで元気いっぱい育てているのは、「カラスノエンドウ」

もうすぐ、きれいなピンクの花を咲かせて、また私たちを楽しませてくれることでしょう!

<2002年2月記>



# 父母会の動き

2年前に公設化され、指導員の経験と熱心さに恵まれたこともあり、子どもたちが「楽しい」時間を過ごしているように思えます。昨年末、急に予算が付き、念願の小学校敷地内への移転が決まり、この4月に開設の運びとなりました。

父母会としても造ってからでは遅いと言われぬように、一昨年度建設された海神・法典のルームを見学し、20項目に及ぶ改善要望書を作成し市に提出しました。しかし市

## 葛飾放課後ルーム父母会、 ルーム移転で要望書を提出

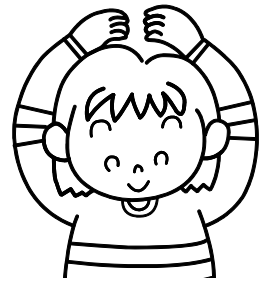
からは、「施設の標準化」を理由に、個別の仕様変更には応じられないとのことでした。

グレードアップを要求したわけではなく、汚れにくい壁紙・使いやすい手洗いなど、あくまで子どもや指導員さんのための要望です。目の前が校庭という何よりの環境になりましたが、より良い施設を、めざして改善していただきたいと思います。

聞きたい

見たい  
語りしたい

# わが子が過ごす 学童保育



5月19日(日)

午後1:30 ~ 3:30

船橋市中央公民館

今年はいじめて入所された方も含めて、子どもたちの様子や学童保育について語り合しましょう。

**ぜひ参加ください**

講演 受けとめます

「ただいまあ」の声

講師 学童保育指導員

子どもたちのたくましさ 元気さ...

子どもたち同士のかかわり、指導員とのかかわりの中で育まれている様子が語られます

分散会

交流の場です

## 第30回 ちば保育のつどい

7月6日(土)

船橋市中央公民館

記念講演 講師 - 加藤繁美氏(山梨大学)

「いま保育・子育てで大切にしたいこと」

~ 今後の予定 ~

5月定例会 5月24日(金)

<女性センター>

定期総会は、6月30日(日)に延期します